

山本君は作文をはきはきと朗読し、駒田さんは「若々しい士清になるように工夫した」と感想を述べた。

このコンクールは、郷土津の偉大な国学者谷川士清を身近にとらえてもらい、その業績を学ぶことで子どもたちの生きる力を育てるのがねらい。森代表の挨拶や三ツ村顧問のお話にもそれが出ていた。三ツ村顧問は「谷川士清を巡って、絵画や作文をかいてくれた子供さん達に逢えるのならと頑張っ



作文を朗読する山本君（右は司会の馬場さん）

大賞以外の入賞・入選等の皆さんは次の通り。

＜作文部門＞

- ◇津市長賞 貝原雅祥（藤水小4） ◇津市教育長賞 玉城 亮（神戸小4） ◇特選 鎌田千春（藤水小4）
◇入選 砂山友梨（藤水小4）・ひさききみこ（藤水小4）・畑中 祥（豊が丘小4）

＜絵画部門＞

- ◇津市長賞 細川誠司（豊が丘小4） ◇津市教育長賞 福島 藍（南が丘小3）
◇特選 古谷あかり（育生小5）・山本徳人（南立誠小4）・別所佑美（西郊中1）
◇入選 鏡味繭有（養正小6）・横井明穂（神戸小4）・鈴木智子（西郊中1）・森本麻未（橋南中3）

作文には津市内小学生から18点、絵画の部門では小中学生から33点の応募があり、選外の応募者にも参加賞（ノート）が準備してあった。この日から2月29日（日）まで、応募の全作品を展示。

作文の部では藤水小学校からの応募が目立った。また、作文で大賞を得た山本君は絵画部門でも特選となり、二重の受賞となった山本君は、お母さんと一緒に記者たちにその喜びを語っていた。

授賞式終了後の記念撮影では、中日新聞・伊勢新聞などの記者に混じって、わが士清の会の西山さんや受賞のお父さんお母さんたちのフラッシュが光っていた。

（文責 佐野）



受賞者記念撮影